

シノダリティにつながる新生計画

「新生計画を土台にシノダリティへ」をテーマに開催された研修会では、諏訪榮治郎名誉司教が、第一バチカン公会議から「日本の教会の基本方針と優先課題」（1984年）、福音宣教推進全国大会(NICE)、阪神・淡路大震災を経て旧大阪教区の新生計画が発表されるまでの経緯を説明した。また、新生計画とシノドスの教会（交わり・参加・宣教）が、新生計画の目指していた五つの教会論と重なることを明らかにした。

続いて、新生計画の実現のために生涯養成コース作りに参加した敷島康雄さん（高槻教会信徒）が、冊子『新生の明日を求めて』を用いて五つの教会論を説明し、シノダリティにおいては「参加する教会」が重要なポイントになると指摘した。



各グループで分かち合い



いま進めているシノドスの歩みには、福音宣教推進全国会議(NICE)から旧大阪教区の新生計画への流れが土台としてあった。6月8日～9日にかけて、サクラファミリアを会場に行われた大阪高松教区司牧者研修会で確認され、活発な意見交換が行われた。

司牧者研修会で活発な討議

2026年8月19日付で、前田万葉大司教より下記の発表がありました。

次期大司教選任に向けての教皇大使ミサおよび教皇大使との集いのご案内



モリーナ
教皇大使

2026年7月19日、福音宣教省初期宣教師部門副長官ルイス・アントニオ・タグレ枢機卿は、大阪高松大司教区の次期大司教の選任の手続きを指示されました。この指示を受けて、教皇大使フランシスコ・エスカランテ・モリーナ大司教と協議の結果、以下の通りに教皇大使を迎えてミサと集いを行うことにいたしました。このミサと集いは、教皇大使が教皇の代理として、次期大司教を選任する手続きが開始されることをミサの中で教区の民に知らせ、司祭・修道者・信徒との集いを通して大阪高松大司教区の未来に対する意見を聞き、合わせて次期大司教候補者の推薦を求めるものです。このような機会を設けることは初めてですが、シノドス（共に歩む）的な教会を目指す姿勢をご理解いただき、お集まりいただきますようお願いいたします。

記

- 【10月10日（土）】教皇大使ミサと集い
- 10：30～ 発表と説明を含むミサ（どなたでも参加可）
 - 13：00～14：30 教区司祭および助祭、属人区司祭
 - 15：00～16：30 修道会司祭および男子修道士
- 【10月11日（日）】教皇大使との集い
- 14：00～15：30 女子修道者代表
 - 16：00～17：30 信徒代表

（備考）
10/10 ミサ 大阪高松大司教区司教座聖マリア大聖堂（玉造教会）
10/10～11 両日集いの場所は、同教区事務局1階会議室。

シノドスの旅程をともに歩む教区



前田万葉大司教、酒井俊弘補佐司教をはじめ、司牧担当者・小教区信徒計21名が参加

第5回教区宣教司牧評議会

7月4日、第5回教区宣教司牧評議会が、対面とオンラインによるハイブリッド形式で開催された。

今回は、高知など遠方からの参加者も加わり、幅広い視点から議論が行われた。大きなテーマとしてシノドスが取り上げられ、さらに教区シノドスの開催を呼

びかける方針が示された。まず、現在歩んでいるプロセスについて、シノドス委員会担当のヌノ・リマ神父より解説があった。その中で、2024年のシノドス総会で承認された『最終文書』の「旅程」として教皇庁から提示されている「実施過程」および「評価集」について確認がなされた。

続いて、シノドス委員会の高山徹神父より、「実施」と「評価」を行うために、教皇庁が「教区シノドス」の開催を要請していることが強調された。これらの発表を受け、参加者は班に分かれて自由な形で分かち合いを行った。

*【教区新生計画】



9
2026

発行所
大阪市中央区玉造2-24-22
カトリック大阪高松大司教区
広報委員会
郵便番号 540-0004
TEL (06) 6941-9700(代表)
TEL (06) 6946-3223(直通)
FAX (06) 6946-3224(直通)
E-mail: kyokuh@ostk.catholic.jp
編集 広報委員会
発行人 前田万葉

本紙
「点訳版」「音訳」
あります。＜無料＞
※ご希望の場合は
下記まで申込み
「点訳版（点字本）」
教区報 ☎06-6946-3223(直通)
☎06-6946-3224(直通)
「音訳（テープ・デジ）」
山口さん ☎0798-22-1649

☆ 観音寺教会聖信式
☆ 平和旬間・月間 7月開催報告
☆ すべてを命を守るための月間
☆ 平和旬間・月間 7月開催報告
☆ ガラシア健康だより
☆ たつの分教会
☆ 阪神地区・高知地区
☆ 姫路・阪神地区
☆ 大阪高松大司教区司教座聖マリア大聖堂（玉造教会）
☆ 10/10 ミサ 大阪高松大司教区司教座聖マリア大聖堂（玉造教会）
☆ 10/10～11 両日集いの場所は、同教区事務局1階会議室。

『教区報』原稿、資料等の締切は前々月末です。

大阪高松大司教区 典礼研修会
典礼のこころ
ミサの準備と
侍者の役割
2026/10/24(土曜日) 13時半～15時半ころ
サクラファミリア(大阪梅田教会)
主催/指導: 教区典礼委員会
●講話/一部実習有
●事前申込不要
●ご受講年齢不問
●研修会は土曜日に実施されます
●今回の研修会は ネット配信や録画公開を
予定していません

第12回
「病者・障がい者とともに歩むミサ」と交流会
日時: 2026年9月23日
(水曜日・祝日) 14:00～16:00
場所: 大阪高松カテドラル聖マリア大聖堂
手話通訳・字幕表示がつかます
ミサはYouTube同時配信
交流会はZoom配信
主司式: 前田万葉大司教
主催: 大阪高松大司教区障がい者部門

入居者、スタッフ募集
株式会社 ガラシア WINGS
サービス付き高齢者向け住宅
ドムスガラシア
入居者を募集しております。
また、看護師、介護職員
を募集しております。
皆様ご協力をお願い申し上げます。
2026年9月、
尼崎市園田教会の隣に開業
信徒、修道者、司祭のケアを提供
☎ 06-4960-8020
✉ info@gratia-wings.jp
担当 奥本、濱口

ひとりで悩まないで
～私たちに聴かせてください～
カトリック大阪高松大司教区
ハラスメント相談窓口
※委員会はハラスメント全般を視野に
入れることになりました。そのため、
名称変更します。
電話番号: 06-6941-9718
相談窓口受付時間
月・火・金曜日(祝日を除く)
午前10時～午後4時
あなたの悩みを親身になって受け止めます。
秘密は必ず守られます。



豊橋城（愛知）をバックにして

大阪高松教区ではじめて司牧にあたる司祭・司牧者を紹介します。

司祭紹介

名 前：タランガ・ナマル・ペレラ
出身地：スリランカ生まれ
生年月日：1991年4月21日
2011年：オプレート会の神学校入学
2014年～2021年：スリランカ・キャンディにある国立聖母神学校で哲学・神学を学ぶ（ローマ教皇庁立ウルバノ大学の提携校）
2020年11月12日：終生誓願
2020年11月26日：助祭叙階
2021年10月20日：司祭叙階
2023年4月21日：来日（日本に初めて来る）
*名古屋のYWCA日本語学校で2年間、日本語を勉強
*名古屋教区豊橋教会で週末のミサ奉仕
2026年：大阪高松教区～鳴門教会の担当司祭
司牧担当：徳島地区司牧協力



毎年9月1日の「被造物を大切にすること祈願日」から10月4日のアッシジの聖フランシスコの記念日まで、世界のキリスト者は「被造物の季節」を過ごしている。日本の教会も、2019年の教皇フランシスコ来日時と呼びかけにこたえ、2020年からこの期間を「すべてのいのちを守るための月間」と定め、被造物を大切にすることを育みながら、身近なところから具体的な行動を重ねてきた。

今年のテーマは、エゼキエル書47章1節、9節に由来する「いのちの水（Living Water）」です。神殿から流れ出たわずかな水が、やがて大河となり、荒れ地を潤し、死んだ水を生きさせた水へと変え、いのちを回復させていくエゼキエルの幻は、私たち一人ひとりのいのちが、神の恵みによって互いにつながっていることを思い起こさせるものです。

教区では、困難の中にある方々に寄り添い、すべてのいのちを大切にするため、「すべてのいのちを守るための基金」を設立しています。

私たち一人ひとりの小さな思いと行動も、やがて大きないのちの流れにつながっていくものです。今年度も、困難の中にある方々に心を寄せ、すべてのいのちを守るため、皆様の温かいご協力をお願いいたします。

ます。2025年度には395万6654円の献金（ミヤンマー地震をはじめ、支援を必要とする方々のために各種団体へ寄付を行いました。今年度も、すでにベネズエラ地震及び令和8年熊本地震の被災者支援に寄付を届けています。

参列者は約60人。日本で最も面積の小さな県に静かに佇む、ここ「無原罪の御宿りカトリック観音寺教会」において堅信のサクラメント（堅信の秘跡）が執り行われたことは、まさに生きた預言であり、未来へのまばゆい希望の兆しとなりました。当日の厳しい猛暑をも包み込むように、聖霊の穏やかで力強い炎が注がれ、多様なルーツ、言語、そして歴史を持つ若者たちが、包括的（インクルーシブ）な教会の美しい調和（シンフォニー）のうちに一つへと結ばれました。

多文化の豊かな輝きに満ちた典礼、神の普遍的な愛



受堅者による朗読奉仕



秘跡にあずかった3人の受堅者

観音寺教会 堅信式

7月19日、観音寺教会で酒井俊弘補佐司教の主司式のもとトマス・ティアゴ神父との共同司式によって3人の堅信式が行われた。

い私たちを聖霊が助けてくださる」神の姿を示しています。

また、福音の麦と毒麦のたとえを通して、心の中の善と悪を見分け、感覚的な快楽ではなく神と隣人のために自分をささげる道を選ぶよう勧められました。堅信で授けられる聖霊の賜物と「主の平和」は、キリストの愛に従う者を平和の道具へと変える力であると協調され、最後に無原罪の聖母マリアの取次ぎを願いながら、堅信者と共同体が聖霊の恵みを豊かにうけるよう招かれました。

多忙を極めるスケジュールの合間を縫い、またこの酷暑の中にあっても、真の牧者としての温かい眼差しと深い慈愛をもって私たちを訪ねてくださった、酒井司教様に心から深い感謝をささげます。

この小さな神の群れ（神の民）に注がれた司教様の司牧の歩みは、「教会の明日はすでに始まっており、この観音寺の地において、分かち合われた信仰が国境を越え、多様性の中で豊かに、そして神の恵みに満ちて力強く花開いている」という確信を、私たちの心に鮮やかに刻んでくださいました。

堅信受堅者の家族、親族、友人など多数参加して、ミサ後には参加者とともに、司教様を囲んでお祝いの親睦会を行いました。受堅された方々は「これからの人生を歩むにあたって、強い信仰を持って、苦難を乗り越えて行けるように心より祈ります」と感想をのべ、喜びのうちに終わることができました。

（文 観音寺教会信徒 山口知恵子）

観音寺教会紹介

- ◆守護 無原罪の聖母
- ◆住所 〒768-0066 観音寺市昭和町1-6-57
- ◆設立年月日 1956年12月8日
- ◆信徒数 47人

【特色】

いろんな国の人たちがお祈りに来て、いろんな言葉で祈り、聖歌、朗読をし、国際的なミサを行っています。

ミサの後も交流会として、年間を通していろんな行事をしています。

ボーイスカウト、土曜学校の人たちと一緒に、ベトナム料理や日本料理などで交流を図っています。



【おすすめの店】
つるやうどん店



平和旬間・月間 2026 大阪高松大司教区

私は平和の道具

I am an Instrument of Peace

思い出し Remembering

ともに歩み Walking Together

守る and Protecting

世界中で様々な戦争や紛争が起こり、多くの人びとの悲しみや苦しみを目にして希望を失いそうになることもあります。また、日本に住む私たちも様々な形で戦争や紛争に巻き込まれる可能性もあり、不安になることもあります。今年は、「アッシジの聖フランシスコ没後 800 年」の特別聖年にあたっており、「今こそ、戦争を未然に防ごう!」というシナピスの年間テーマと相まって、「平和の道具」として共に歩み、平和を守っていききたいという思いが多く、多くの地区や小教区の活動から伝わってきました。今月号では、主に 7 月中に「平和月間行事」を実施された地区・ブロック・小教区の内容をご紹介します。「平和への歩み」の参考にさせていただければ幸いです。

《姫路地区》

◆**姫路地区合同** 講演会 講師：Sr.ニコラ（聖フランシスコ病院修道女会）
7/4（土）10 時～ 姫路聖マリア病院聖堂
7/11（土）10 時～ 相生教会
アッシジの聖フランシスコ没後 800 年の聖年にあたり、対立と分裂に苦しむ今の時代に、この世界に橋を架ける勇気を持ち、平和の証人となれるようにと祈った。「平和のために祈る。赦す心を持つ。人を生かす言葉を話す。被造物を大切に作る」など、私たちが日々の心がけでできることを学んだ。
また、「聖フランシスコの祈り」を姫路地区の教会に集う外国の方に自国の言葉で書いていただき、巻物に貼り付けて展示した。それを、平和月間の間、姫路地区の小教区を巡回させる。講演会后、平和祈願ミサを捧げた。参加者は、各会場とも 80 余名。



《神戸地区》

◆**北須磨教会** 7/5（土）10 時からのミサ後「こどもとおとなのための読み聞かせ会」
*『どんなにきみがすきだかあててごらん』（サム・マクフラットニイ作）絵本をプロジェクターで投影し、子どもたち 2 人が元気な声で朗読。お互いを思い、認め合う気持ちを大切にしているところに、平和があることを学んだ。
*『光にむかって サーロー節子 ノーベル平和賞受賞のスピーチ』（くさばよしみ編）6 人のおとなが、ページごとに交替で朗読。彼女が人生をかけて訴えてきた非核について知り、「平和の道具」としての彼女の生き方を知った。



◆**神戸地区西ブロック（北須磨・垂水・明石）**
7/7（火）47 名が、北須磨教会→垂水教会→明石教会へと、明石教会の方が作ってくださった横断幕を先頭に「あめのきさき」を歌いながら約 2 km の道を「平和の行進」をして教会巡礼をした。西国街道を歩いたとされる日本 26 聖人の行程にも思いを馳せた。司祭やシスターの多大な協力や地区外からの参加者もあり、大きな励みとなった。明石教会でミサに与り、茶話会を行ない、貴重な交流の機会にもなった。



◆**垂水教会** 7/11（土）シノドス交流会「あなた方に平和があるように」を実施。講師：ヌノ・デ・リマ神父
講話後、交流会の実施方法について説明を受け、「霊における会話」で「平和についての分かち合い」を実践。心を傾けて聴くことの大切さ、心を開く訓練の大切さを実感した。この体験を重ねることが、教会を豊かな交わりに導いてくれると感じた。



◆**神戸中央教会** ①7 月初旬～平和への思いのメッセージを書いていただき、掲示板に貼った（写真左）。聖ヨハネ・パウロ 2 世教皇の平和アピールや「焼き場に立つ少年」、フィリピンの戦争遺跡や現在の戦争・紛争地の写真を展示した。②7/19（日）「瑠璃色の地球」ミニ講演会（講師：前カトリック社会活動センター長・山野真実子さん）同名の曲に合わせて、美しい地球の景色や戦争・紛争地域の人々の映像とお話から、きれいな地球を守っていききたいと思った。同時開催：英語グループによるホットドッグ・スタンド。ミサ後にホット・ドッグを食べながら講演を聴くという企画で、160 食を無料で提供したが 5 万円を超える寄付が寄せられた。英語グループとの交流もできた。③アヴェ・マリアの祈りを 1 回唱えるごとにファティマのマリア像の前のロザリオの絵にシールを貼って完成させた。子どもたちの参加もあり、ともに祈るきっかけになった。



◆**兵庫教会** 8/1（土）10 時～平和祈願ミサ 司式：松永 敦神父、丹生 信雪助祭
11 時～講演会（講師：丹生 信雪助祭）「平和を実現する人々は幸いである。その人は神の子と呼ばれる」以前から黙想会の指導をお願いしたいと希望していた丹生助祭の熱い思いが伝わってきて、予定時間を超える分かち合いが行われた。充実した時を過ごした。

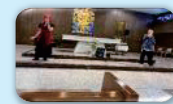


◆**六甲教会** 8/2（日）「子どもオペレッタ フェリシア広島」による朗読音楽劇「あの空の上に」を上演。広島で被爆しながらも前向きに生き抜いた一人の女性の実体験に基づく作品。
戦争によって家族や日常を奪われる辛さや悲惨さを伝える一方で、戦後の平和への歩みを感じさせる不思議な温かさを持った作品だった。戦争の非情さを突き付けられつつも、最後は希望を感じ取ることができた。六甲教会からも子どもたちや音楽奉仕者の有志が賛助出演し、素晴らしいオペレッタになった。参加者 117 名。



《阪神地区》

◆**伊丹教会** 7/12（日）平和祈願ミサ後、「歌の集い」を実施。第一部は、二人組のボーカルユニット「ユニティ」。メンバーの一人が当教会の信徒。第二部は、聖歌隊によるコーラス。参加者約 100 名の合唱で一体感を感じた。どちらも「違いを越えて平和を目指す」という思いが伝わってきた。「繋がり」を大切に、心をつなげて祈り、ともに歩む」というメッセージと祝福を司祭からいただいた。



◆**阪神地区 9 教会合同** 7/20（月・祝）会場：仁川教会聖堂（ミサ、コンサート）フランシス館（茶話会）
* 10 時～平和祈念コンサート（出演：百合学院アンサンブル部、仁川学院聖歌合唱部、ベトナム聖歌隊）
* 10 時 30 分～平和祈願ミサ（司式：前田万葉枢機卿、諏訪名誉司教、阪神地区司祭、小山終身助祭）参加者：約 350 名
* ミサ後の茶話会会場には、空襲や原爆などのパネルを掲示し、戦争の残酷さや平和の大切さを分かち合うことができた。



平和祈願ミサ



コンサート

◆**夙川教会** 8/2 (日) 11時30分～
映画会『八月の狂詩曲』(監督・脚本 黒澤明)
戦争の悲惨な映像で平和を訴えるのではなく、戦争や原爆を体験したことによる心の奥深くにある癒されることのない悲しみ・苦しみをすることで平和の大切さを訴えたいと思った。
静かに反核を訴える素晴らしい映画だった。



.....

*7/1～8/31 使い捨て文化を見直すなど環境問題や平和への思いを一言メッセージとして皆様に書いていただき、教会の木とフェンスに貼り付けて、道行く方にも見ていただけるようにした。また、熊本の震災や世界の混乱に心を寄せて祈り、皆さんの願いがこもったたくさんの折り鶴を祭壇に捧げた。



《北摂地区》

◆**高槻教会** 8/2 (日) 絵本「ぼくのこえがきこえますか」(作・田島 征三/童心社)をプロジェクターで拡大投影して朗読後、参加者の思いを聞いた。日本の平和な日常では話題に上がらない戦争・命について考えたいという思い。今、知らないうちに「戦前」にあるのではないか、キリスト者としてどう行動していけば良いのかを省みる機会を設けたかった。



《大阪北地区》

◆**今市教会** ①7/12 (日) 祈りの歌を捧げましょう(参加者約60名)
②8/2 (日) **前田枢機卿と共に観るDVD『ナガサキの少年少女たち』と講話**(参加者約50名)被爆二世としての枢機卿のお話—お母さまが亡くなる数年前に語られた被爆体験や被爆者への差別問題などを話された。「原爆は絶対に赦せない」と強い口調で話されたことが心に残った。「平和の日 柔和謙遜 学びたし」と詠まれた。8/6と8/9にはロザリオの祈りをした。



《大阪南地区》

◆**大阪田辺教会** 7/5 (日) 平和祈願ミサ後、上映会(DVD)～ふたつの胡桃～野坂昭如反戦童話より。動画鑑賞後、感想の交流会。参加者40名。風化しつつある戦争の記憶を若い世代に伝えていく良い機会となった。90代の戦争体験者から「本当にあったこと」という証言を得た。「防衛のために軍備を!」という論調が多くみられるが、私たちキリスト者はそれに警鐘を鳴らし、同調しないことが肝心だと思った。

◆**堺教会** ①7/5 (日)「カンボジア巡礼ツアー報告会」:8月の第一日曜日は「カンボジア教会の日」ですが、カンボジアの過去と現在について知っている人は少ない。内戦・虐殺の過去から再生へと歩むカンボジアの教会や施設を尋ねた山内ます子さんからの報告。
②7/26 (日)「アジア太平洋地域戦争犠牲者2000万人の冥福を祈る会」主催の「ビデオ絵本『ひろしまのピカ』上映会」
③7/5 (日)～8/9 (日)教会学校の子どもたちと共同制作した「戦争と手」の平和メッセージに「平和への祈り・決意」等を書き込み、8/9の平和祈願ミサで奉納した。



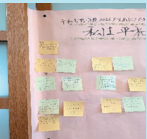
◆**住之江教会** 7/5 (日)①ウクライナ支援ボランティアによる講演「遠い争い、近い支え」ウクライナで戦争が続く中、日本に避難されてきた方や支援ボランティアの方からのお話から現状を知り、私たちに何ができるかを考えた。②ウクライナ支援チャリティショップの開催。自分にもできる支援があることを知った。



◆**生野教会** 7/12 (日)外国人3名の方のスピーチ。故郷で紛争が続いているため、家族や友人を心配する方や、信仰ゆえに迫害されて日本に逃れて来た方など、信仰の強さと勇氣ある発言に感動した。「平和は当たり前ではない。平和の道具として守っていかなければいけない」と思った。



◆**泉北教会** 8/2 (日) 泉北教会の守護聖人アシジの聖フランシスコについて、藤城清治氏著『アッシジの聖フランシスコ』の絵本を使い、考えた。絵本の朗読を聴き、感想と共に自分が「平和の道具」として何ができるかを2枚の付箋に書き、分かち合った。神から与えられた命・時間・使命を大切にすること!



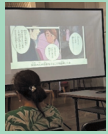
《岸和田地区》

◆**貝塚教会** 7/26 (日) 教皇のお祈りの動画を見て、皆で祈り、「長崎の鐘」を合唱。(参加者の感想)

進行中の戦争の主導者が教皇のことばを理解してほしい。祈りは大切。次世代の若者たちに希望を持ちたい。私たち個人に武器はないが祈ることはできる。武器の代わりに祈りを通して、自分の周りから小さな優しいことを実践しよう。「長崎の鐘」と一緒に歌えたことに喜びを感じた。武器を持っても平和にはならない。自分の周りのできる小さな優しさを実行しよう。



◆**岸和田教会** 8/2 (日) テーマ:「平和を生きる、アシジのフランシスコに倣う」
①「平和の祈り」を全員で唱える。
②動画「アシジの聖フランシスコすべての命の輝き」を見る。③マタイ福音書5-1~12を朗読。個人黙想④平和の祈りの歌を歌う。
⑤教会の鐘を9回鳴らす。久しぶりの鐘の音に落ち着いて祈り、心が安らくなった。紛争・戦争ではなく、自分の心の平和を見つめたので良かった。



◆**和泉教会** 8/2 (日) 子どもたちと共に伝えたい「平和への願い」

去年は、子どもたちは別メニューで平和について考えたが、今年は子どもたちと共に平和を考えたいと思い、子どもたち中心で行事を考えてもらった。

*谷川俊太郎の絵本「へいわとせんそう」の読み聞かせ。なぜ戦争が起こるのか?大切なものは「人のいのち」だが、大切なものが「国」になってしまった。国境は人がつくったもので神が作られた地球にはなかった。

*「愛」の反対は「無関心」(マザー・テレサ)子どもたちがメインで、子どもたちと一緒に平和を考えるきっかけになって、嬉しい。子どもたちの伴奏で、「すべての人の平和」を歌った。



《香川地区》

◆**善通寺教会** 7/5 (日) 平和祈願ミサ世界で続いている戦争や紛争で苦しんでいる人びとに心を寄せ、世界の平和のために、また私たちの身近なところに平和が広がっていくよう心を合わせて祈り、改めて平和について考える機会となった。



◆**桜町教会** 7/12 (日) アントニオ石原孫右衛門殉教記念ミサ:殉教した石原孫右衛門父子の永遠の安息を祈り、どのような圧力にも屈せず信仰を守り抜いた強さが、私たちにも与えられるように願った。当教会から殉教地の刑場迄6kmの巡礼路を歩き、汗を流し、この道を歩いた殉教者の心境を想像した。現代の自由と豊かさの一方、その背後に潜む闇から目を背けてはならないと思った。

《高知地区》

◆**中島町教会** 7/26 (日) 平和祈願ミサで平和の祈りカードを奉納 ミサ後にテゼの祈り(マザー・テレサの言葉より朗読)沈黙の後、ギター伴奏で歌を捧げ、ことばを味わった。心に残ったマザー・テレサのことばについて分かち合った、一人で味わったりした。



令和8年熊本地震被災地支援募金

【*各意向の内容により振込先が違います】



【意向】 教会内支援（教会の修復や被災された信徒の方への見舞金など）
福岡教区へ振込
郵便振替 口座番号 01760-6-20729
加入者名 カトリック福岡司教区
通信欄 「令和8年熊本地震」と明記



【意向】 カリタス福岡をはじめ、関係機関・団体と連携し、被災された方々への支援や生活再建、地域の復興のために活用
カリタスジャパンへ振込
郵便振替 口座番号 00170-5-95979
加入者名 宗教法人カトリック中央協議会カリタスジャパン
通信欄 「令和8年熊本地震」と明記

「ゆうちょダイレクト」ならびに他行からお振込みいただく場合はご依頼番号、お名前の後に「6227」（令和8年熊本地震災害緊急支援募金の意向番号）を記入いただきますようお願いいたします。

2026年9月1日

たつの分教会 お預かりご遺骨の件

現在、当教会では下記のご遺骨をお預かりしていますが、2026年末における当教会閉鎖に伴い、ご遺骨のお預かりを取り止めることといたしました。
つきましては、次の方々のご遺骨に関係する方、あるいはご事情をご存じの方は2026年12月末日までに当教会の本教会である網干教会までお届けください。

物 故 者	納骨日	依頼者
モニカ 土井 すえ	不明	不明
アウグスチヌス 土井 寛	不明	不明
ベルナデタ 土井 千鶴子	不明	不明
ステファノ 山下 常也	不明	不明
マリア 塩谷 とし	不明	不明
アグネス 木場 やく	不明	不明
無名 4 体	不明	不明

なお、2026年12月末日までにお届けのない場合は、当方で共同埋葬をいたしますのでご了承ください（以後改葬はできません）。

〈問合せ先〉
カトリック網干教会
電話：079-272-0404 FAX：079-272-3586

🌸 ガラシア病院健康だより 🌸

～認知症は一人で悩まず地域の集いで情報交換を～

「9月21日は認知症の日」。1994年スコットランドのエジンバラで第10回国際アルツハイマー病協会が開催されました。会議の初日であるこの日を世界アルツハイマーデーと宣言し、アルツハイマー病等に関する認識を高め、世界の患者と家族に援助と希望をもたらす事を目的としています。日本では共生社会の実現を推進するため認知症基本法が施行されたことにより、2024年から毎年9月が認知症月間、9月21日が認知症の日と定められました。以後はこの日を中心に認知症の啓発を実施しています。

今回ガラシア病院健康だよりでは、認知症の人やその家族を支える地域の取り組みに関して情報を発信させていただきます。出典:認知症の日/認知症月間 令和7年(2025)年度)をもとに作成 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/alzheimerday2024_00001.html

☕ 認知症カフェ ☕

認知症カフェは、各地域の介護や福祉の専門家が運営する認知症について気軽に相談できる場所です。公共施設の一室やカフェの一角を利用して開催されることが多く、認知症の人やその家族、地域住民、支援に関わる人等、誰でも利用できます。早期診断後の何も支援がない「空白の期間」を満たし、認知症の人の孤立を防ぐ役割も果たしています。

また、認知症カフェ以外にも、認知症当事者による相談支援を行う「ピアサポート」や認知症の同士の中心になって話し合い発信をする「本人ミーティング」などの取組があり、全国各地で行われています。それぞれの詳細は、お住まいの地域の高齢者福祉担当部局や地域包括支援センターなどにお尋ねください。出典:政府広報オンライン「知っておきたい認知症の基本」をもとに作成 <https://www.gov-online.go.jp/article/202501/entry-7013.html>

📍 箕面市の取り組み(一例) 📍

ガラシア病院のある箕面市は「認知症のひとにやさしい地域づくりに向けた取り組み」として、各地区で認知症カフェを実施しています。認知症カフェとは認知症の人やその家族、医療・介護の専門職、地域住民など、誰でも自由に参加できる「集い」の場です。カフェによって活動はさまざまですが、参加者同士が情報交換や医療・介護の専門職に相談することができます。困った時やご相談がある場合、箕面市にお住まいの方は地域を担当する「高齢者くらしサポート」にご相談ください。出典:みのお認知症ガイドブックをもとに作成 <https://www.city.minoh.lg.jp/kaigo/documents/minohgaidobook2.pdf>

文責:ガラシア病院健康教室委員会 ガラシア訪問看護ステーション 理学療法士 尾西 貴裕



医療法人ガラシア会

ガラシア病院

生活習慣病、各種健康診断にも対応

〒562-8567
大阪府箕面市栗生間谷西6丁目14-1
TEL：072-729-2345

ト 報

Sr マリア・フェリチタス吉田有子（大阪聖ヨゼフ宣教修道女会）は、7月11日、ガラシア病院で老衰のため帰天。86歳。東京都出身。



奉獻生活65年。百合学院小学校で教師として働いた後、1986年からマニラのアライカプアの人々が編んだタオルや小物を北は北海道から南は沖縄まで多くの学校・教会・施設に出向いて紹介しました。訪問先でスモークキーマウンテンのスラムの様子、アライカプアの信仰にもとづいた共同体生活を「フイリピン・ボランティア」の有子さんとして紹介し、環境問題、

貧困問題の実態を情熱的に伝えました。また、滞日外国人の方々のためにも、役所の手続き、病院の付き添い、学校の保護者会にも寄り添い、時間を惜しみなく提供しました。言葉を越えたコミュニケーションで弱い立場に置かれた人々に奉仕した生涯でした。

◆ ヴアレリオ・アンザネッロ神父（聖ザベリオ宣教教会）は、7月11日、高齢者施設（泉佐野市）で帰天。93歳。1932年12月31日生まれ、イタリア・トレヴィーゾ出身。



◆ 1958年司祭叙階。同年日本に派遣され、日本語研修（神戸）。大分教区では延岡・都城教会助任・主任司祭のほか幼稚園長を兼任。84年から89年イタリアの母修院の副院長・院長を務めた後、再来日。大阪高松教区では、泉佐野・浜寺・貝塚・熊取の各教会の助任および主任司祭。幼稚園長も兼任した。福岡教区では、島崎・玉名・菊地・山鹿の教会の主任司祭及び司牧協力。

◆ 管区本部修道院長（1967年～70年・2024年～25年）。日本管区副管区長（1989年～2005年）として共同体に奉仕を重ね、晩年はいずみ・りんくうブロックの協力司牧を続けながら本部修道院にて静養していた。

◆ チェレスティノ・松田清四朗神父（コンベンツアル聖フランシスコ修道会）は、7月9日、聖フランシスコ病院で

ぼうこうがんのため帰天。78歳。1947年8月2日生まれ、鹿児島出身。



◆ 1974年司祭叙階。91年～94年、2002年～2003年に仁川修道院に在籍し小教区や仁川学院兵庫で司牧。

◆ 司祭としての活動を通じて、典礼や司牧の在り方を生涯学び続けた。「和善の会」のつどいを精力的に開催するなど、カウンセリング形式でさまざまな人々の悩みを受け止め、心の支えとなった。

◆ フランシスコ・サレジオ赤波江謙一神父（聖パウロ修道会）は、7月26日、JCHO大阪病院で脳挫傷のため帰天。81歳。1944年9月30日生まれ、福岡県出身。



◆ 1958年に福岡修道院へ入会して以来、本会修道司祭としてその生涯をささげた。「家庭の友」、「カトリック新聞」、聖パウロ学園高等学校など編集・教育の分野で献身的に奉仕した。2016年に大阪修道院へ異動後は、大阪梅田教会および関目教会において教区協力司祭として務め、司牧の喜びのうちに献身した。



ヨハネ 1・46

※詳細は各主催者へ直接お問い合わせください。

サクラ ファミリア主催

聞かせてください 神さまと出会った時のこと～エマオへの道で◆特別編
日時 10/3(土)14:00～15:30
おはなし 林 尚志神父 (イエズス会)

聖書ヘブライ語文法(初級)
講師 小脇光男先生 (熊本大学名誉教授)
日時 9/4・9/18(金) 17:00～18:30

コレーン神父 聖書の集い ◆「A年の主日のみ言葉に生かされて」
日時 9/14・10/19・11/9・12/14(月)13:30～15:00

和田幹男神父◆聖書研究講座「新旧聖書の歴史・地理的背景を学ぶ」
テキスト『聖書年表・地図』(和田幹男著)
日時 9/9・10/14(水) 10:30～12:00

和田幹男神父◆新約聖書ギリシア語「マルコ福音書を読む」
日時 9/14・9/28・10/5・10/19(月) 17:00～18:30

祈りのよる◆灯りをかこみ、ともに祈る静かな時間を
日時 毎月17日19:00～19:30

問 サクラ ファミリア
☎06-6225-8871
✉f.sacra@ostk.catholic.jp

結婚準備講座

六甲教会

日時 次回9/6(日)～9/27(日) 14:00～16:00(4回)
参加費 ¥5,000(2名)
問 ☎078-851-2846
✉renraku@rokko-catholic.jp
※事前要問合せ(年2回)

黙想会

宝塚黙想の家
◆日帰り黙想会
日時 9/24(木)・9/25(金) 10:00～15:30
指導 染野治雄神父(9/24) 山内十束神父(9/25)
参加費 ¥3,500

◆一泊黙想会
日時 9/18(金)17:00～ 9/19(土)15:30
指導 染野治雄神父
参加費 ¥9,000

◆新約聖書の世界への旅
日時 第1(月)19:00～
指導 山内十束神父

◆祈りを深めるための聖書の基本
日時 9/2・30(水)10:00～12:00
指導 山内十束神父
参加費 ¥1,000

◆カトリック教会のカテキズム
日時 9/2(水)10:00～12:00
指導 染野治雄神父
参加費 ¥1,000

◆柱の黙想
日時 第2(木)10:00～12:00
指導 山内十束神父
参加費 ¥1,000

◆教会の教えと歴史
日時 第4(木)10:00～12:00

指導 山内十束神父
参加費 ¥1,000

問 宝塚黙想の家
☎0797-84-3111

高橋聡神父◆カテキズム黙想会

日時 9/24(木)13:30～15:30
場所 サクラ ファミリア
主催 信徒の奉献 アネモネの会
問 高橋聡神父
☎090-6329-5709

講座・研修会

講座◆小さくされた人々のための福音
日時 第3(金)10:00
場所 神戸学生青年センター
参加費 ¥1,000
主催 神戸国際支縁機構
問 岩村 ☎070-5045-7127

兵庫・生と死を考える会 9月月例会◆「自死の悲嘆についてと遺族の思い」
講師 蔵谷和弘さん・蔵谷香代子さん(遺族会参加者)
日時 9/20(日)13:30～15:00
場所 神戸学生青年センター北館 4階 スタジオA
参加費 会員 ¥1,000 一般 ¥1,200 申込不要
主催・問
兵庫・生と死を考える会
☎☎078-805-5306
✉hyogoseitoshi@outlook.com

集い

第12回河内キリシタン祈念祭◆竹延真治神父講話・祈念ミサ・分かち合い
日時 10/3(土)10:00(受付9:30)
場所 大東教会
持ち物 弁当・飲み物
主催・問 大東教会
☎072-876-5434 中川・中田

大阪JOC◆働き方や生き方について現状から共に考える 15～35歳までの若者の集い
日時 第2(土)19:00～21:00
場所 大阪YCWセンター (またはZoom)
問 レネ神父・水元

☎072-232-8063
✉osakaycw@gmail.com
HPhttp://www.ycw.jp/

要約筆記グループ“エッファタ!”練習会◆教区ミサに要約筆記(文字表示)をつけるボランティア
日時 第2(日)19:00～21:00
場所 オンライン・パソコン使用
問 障がい者委員会
✉dis@ostk.catholic.jp

精神・発達症(障害)者自助グループ◆オリーブの集い 守秘義務と分かち合い いつ来てもウェルカム 当日キャンセルOK
日時 第3(日)14:00～16:00
場所 姫里集会所
参加費 無料(12月のクリスマス会だけ実費)
申込 高橋まで
問 ☎070-8946-4472
✉v_p_ikuchan@ybb.ne.jp

点訳ネット「レジナ」◆勉強会
対象 パソコン点訳に関心のある方、視覚障がい者の情報共有に関心のある方

日時・場所
奇数月 第2(火)13:30～15:00 姫里集会所
偶数月 第2(水)13:30～15:30 北須磨教会
申込 笠松まで
問 ☎090-5661-4324
☎072-722-0271
✉kasamatsu-yukisan@iris.eonet.ne.jp

聴覚障がい者ボランティア会◆聖書の手話表現の学び・教区活動の手話通訳者派遣
対象 手話に興味をお持ちの方 ※手話講習会ではありません
日時 第1・3・5(水)10:00～14:00
場所 姫里集会所
問 障がい者委員会
✉dis@ostk.catholic.jp

マザー・テレサ共労者の集い ◆大阪梅田教会
日時 第1(土)14:00
問 高塚 ☎06-6921-0693
◆加古川教会
日時 第3(火)13:30～15:00
問 森田 ☎079-426-5704

来たれ、青年！
青少年司牧委員会は、青年たちの熱い思い・働きを受けとめ、「BRIDGE」と題して四国四県と大阪・兵庫・和歌山の青年の交流会を開催することになりました。ぜひ、奮ってご参加ください！
カトリック大阪高松大司教区 青少年司牧委員会 委員長 高山 徹

大阪高松大司教区 青年つながりの集い
ブリッジ
BRIDGE
～つながりのはじまり～
第1回
開催場所：カトリック徳島教会
集合時間：11/21(土)13:30
解散時間：11/23(月・祝)13:00
対象年齢：18歳～35歳(高校生不可)
募集人数：30名 参加費：6000円
申込締切：10月25日(日)

BRIDGEとは…

大阪高松大司教区の青年が地域を越えて集い、信仰を分かち合いながら新しい仲間とのつながりを広げる企画です。同じ教区で歩む仲間と出会い、語り合い、これからのつながりを一緒に育んでみませんか？



お問い合わせ
bridge.osakatakamatsu@gmail.com
主催 大阪高松大司教区 青少年司牧委員会
青年つながりの集い 実行委員会

←QRコードからお申し込みください→

INTERNATIONAL DAY 2026
大阪高松カテドラル 聖マリア大聖堂
St. Mary's Cathedral
10.18 SUN
12:30～16:00
外国人が暮らしやすい社会は日本人にも暮らしやすい
A society where foreign residents can live easily is also a society where Japanese people can live easily.

行事等日程					
9月			23	水	14時 病者・障がい者とともに歩むミサ(カテドラル)
1	火	すべてのいのちを守るための月間 すべてのいのちを守るための基金 (献金) (～10/4迄)			
3	木	〔常任司教委員会〕	27	日	世界難民移住移動者の日(献金)
6	日	被造物を大切にす世界祈願日			
9	水	10時半 顧問会・責任役員会	30	水	〔臨時司教総会〕 (～10/1迄)
14	月	十字架称賛			
16	水	教区健康の日	1	木	常任司教総会 〔常任司教委員会〕
20	日	祖父母と高齢者のための 世界祈願日			
			7	水	ロザリオの聖母 大阪高松教区 守護聖人 10時半 顧問会・責任役員会 13時半 司祭評議会

祈りとともに 整えられる心
私たちが教区は広く地域ごとに風景も文化も異なりますが、どの地区にも共通して流れているのは、「ともに祈り、支え合いながら歩む」という確かさでしょう。それぞれの場所で、目に見える活動だけでなく、日々の祈りや小さな奉仕を通して、教会共同体のいのちは守られ、育まれています。
さまざまな思いを抱えながら過ごす私たちが、主が共にいてくださるという確かさのうちに、慌ただしい日々の営みの中でも、心をリセットしながら豊かに整えられてゆきますように。
(岸和田地区 広報委員会 岬教会 青木令子)